

歴史探訪



文化財課 ☎22-1720
(博物館) FAX 22-2028



●山田もと先生の文学碑

児童文学作家 山田もと

山田もと先生は、大正9(1920)年に現在の田原市大草町に生まれました。田原高等技芸女学校を卒業後、昭和13(1938)年に一時沖繩に在住、その後帰町し野田尋常小学校の教員を昭和22年まで務めました。

その後、昭和32(1957)年、名古屋児童話作家協会(中部児童文学会の前身)に入会すると、ここから児童文学作家としての活躍が始まりました。主な作品に、昭和37年、「中部児童文学」第4号に若いころ暮らした沖繩のうちわを題材とした『久葉扇』(この作品は改編され昭和52年『首里の町が消える日』、平成4年『ブーゲンビリアの咲く町で』として刊行)や平成5(1993)年、第4回ちぎり文学奨励賞を受賞した『よだかの夜でっぽう』、平成10年第6回新風舎出版賞優秀賞を受賞した『牛と歩いた道』、豊川用水通水前後の渥美半島の様子を描いた自身の代表作でもある『水の歌』(昭和56年)などがあります。また、この他にも母校の大草小学校の校歌の作詞や田原中部小学校のPTA機関紙に昭和39年から平成16年の間、156作品を提供しています。先生が書かれた作品のテーマには、

田原や渥美に伝わる民話や伝説、田原に縁のある人物の伝記、この地域の子どもたちの暮らしを伝える童話などがあり、私たちの郷土に残された当時の記録としても大変に貴重なものとなっています。なお、先生は田原町地域婦人連合会会長、社会教育委員、民生・児童委員、文化協会常任理事など多方面にわたる功績で平成4年田原町政功労者として表彰されています。

そんな先生が84歳で亡くなられたのは、平成16年のこと。晩年には、その人柄から「もとはあちゃん」と呼ばれた先生の、今年(令和3年)は生誕100年の記念の年になります。図書館・博物館・大草校区では連携して、記念事業としてさまざまな催しを行います。ぜひ、もとはあちゃんが残した作品に触れてみてください。

(学芸員 天野敏規)

山田もと 生誕100年記念事業

～「もとはあちゃんが残した たはらの民話」～

記念行事

日時:12月20日(日)午後1時30分～3時40分

場所:田原文化会館(多目的ホール)

内容/講師:①講演「地域のおはなしを語り継ぐ魅力～田原・豊橋の民話300話を事例に～」/内浦有美氏(ばったり堂) ②成章高校演劇部 朗読 ③大草小学校4年生演劇「水の歌」 ④座談会

対象/定員:どなたでも/80名

その他:11月14日(土)～12月19日(土)の期間に図書館・博物館・大草市民館に直接申込

博物館 平常展 ～渥美半島と文学～児童文学作家 山田もと

期間:12月5日(土)～令和3年2月7日(日)

内容:生誕100年を記念し、代表作である『水の歌』の原稿をはじめ、田原区発刊『蔵王』に掲載された田原の民話の原稿などを展示
観覧料:310円※ほの国こどもパスポート提示で小中学生は無料

大草市民館 企画展

期間:12月12日(土)～令和3年2月11日(木・祝)

内容:山田もとさんと大草校区・大草小学校との関わりを紹介

図書館 詳細は、25ページようこそ図書館へをご覧ください

▶中央図書館(☎23-4946) ▶博物館(☎22-1720)

▶大草市民館(☎22-6276)

